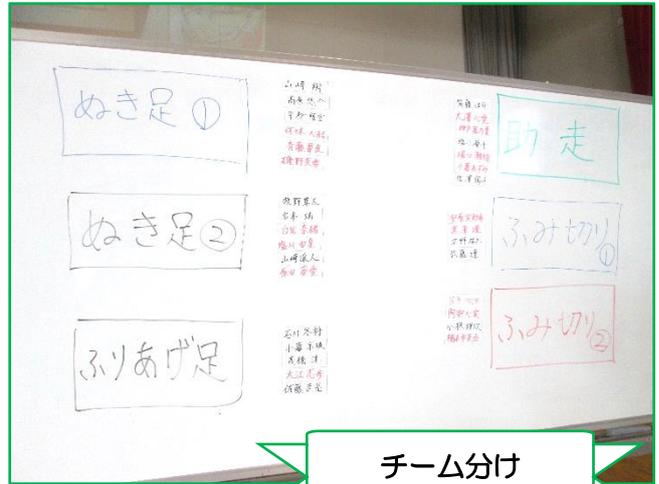


学び合い



札を使って



チーム分け

課題別練習では、助走・ふみきり・空中動作の3つの場面を、札を使って評価していました。自分が練習したことが友達に認められることで自信がついたり、新たな課題を発見できたりして、児童の意欲へとつながっていました。

中学校とのつながり



プロジェクターの活用



学びのつながり

プロジェクターには、中学校の生徒がお手本として、走り高跳びを行っている動画がエンドレスで流れていました。中学生にとっても、小学校の授業でお手本とされていることに、とても満足感があるのではないかと考えられます。

◎まとめ

自分の課題は何か、次の練習は何かなど、児童が自己決定する場面が多い授業でした。「自己決定させること」、「記録会では、高低で競い合わせるのではなく、記録の伸び率で競い合わせること」などで、体育が苦手な児童でも、意欲的に取り組むことができていました。とても勉強になりました。

(文責：富岡市立黒岩小学校 永井皓平)